

5～17 歳のお子様をお持ちの保護者の皆様へ

小児への新型コロナワクチン接種について 沼津医師会からのメッセージ

小児へのワクチン接種を推奨します

2022 年8月現在、国内における新型コロナウイルス感染が爆発的に急増し小児の患者数が増加しています。

特に第7波は、子供（小児）から両親・祖父母への感染により感染が拡大しており、基礎疾患が悪化したり別の病気を発症して、両親や祖父母が多く入院しています。また小児同士で感染する機会が増加し、重症化する小児患者も増加しています。

現在5～11歳の小児への新型コロナワクチン接種も始まり、有効性と安全性に関する情報も蓄積されてきました。特に小児においても新型コロナワクチンは重症化予防に寄与することが確認されました。ワクチンを接種するメリット（発症予防や重症化予防）がデメリット（副反応など）を大きく上回ると判断しました。

子どもたちの感染を新型コロナワクチン接種で予防し、大切な子どもたちとその家族を新型コロナウイルス感染から守ってあげてください。

接種に悩んだらかかりつけ医に是非ご相談ください

2022年8月現在の日本小児科学会の見解です

1. 小児を新型コロナウイルス感染から守るためには、周囲の大人の新型コロナワクチン接種が重要です。適切な回数（3回目又は4回目）の新型コロナワクチン接種をうけることを推奨します。
2. 重症化リスクの高い基礎疾患のある小児は新型コロナワクチン接種を推奨します。接種に関しては主治医に相談してください。
3. 日本小児科学会は5～17歳の健康な小児への新型コロナワクチン接種を推奨します。小児においてもワクチン接種の効果と安全性が確認されています。ただし接種される際にはきめ細やかな対応と配慮をお願いします。
4. 2回目の接種から5か月以上経過した12～17歳の小児に対しては、早期の追加接種（3回目）を推奨します。

引用文献

「新型コロナワクチン～子どもならびに子どもに接する成人への接種に対する考え方～（2021年11月2日改訂）」

「5～11歳小児への新型コロナワクチン接種に対する考え方（2022年3月23日一部修正）」

「12～17歳の小児に対する新型コロナワクチン追加接種について（2022年3月25日）」

接種の際は「母子手帳」を忘れずにご持参ください

